

高校野球のマナーとルールを学ぼう (第88回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

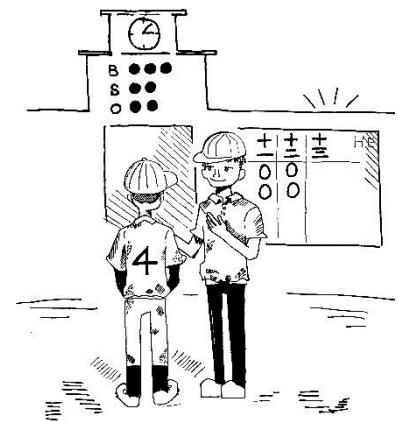
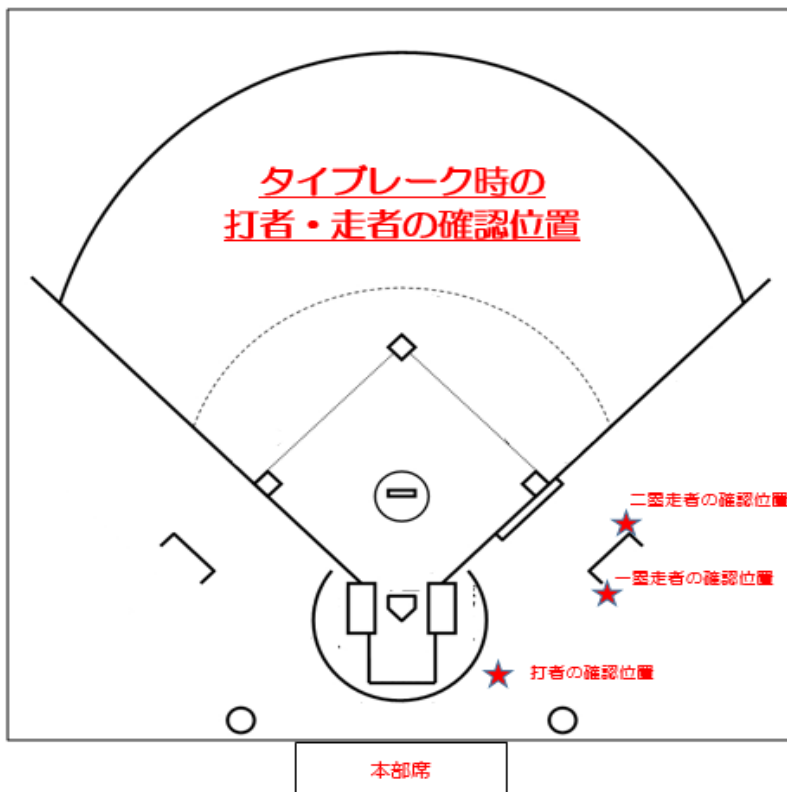
ルール編 タイブレーク制度の運用について

第 87 号で詳細を解説した「タイブレーク制度」の実際の運用に関し紹介します。4 月 14 日には、明石球場にて明石高校、葦合高校、夢野台高校の協力を得て、兵庫県高等学校野球連盟理事長以下役員の先生方、公式記録委員会、放送部員に出席願い、審判部からは部長以下技術指導員、審判員が参加して、「タイブレーク制度」のルールに沿った実際の運用方法の実践練習を行いました。

まず、「タイブレーク制度」を適用して試合を運営する上で、大切なポイントを以下 3 点として方法を確認しました。

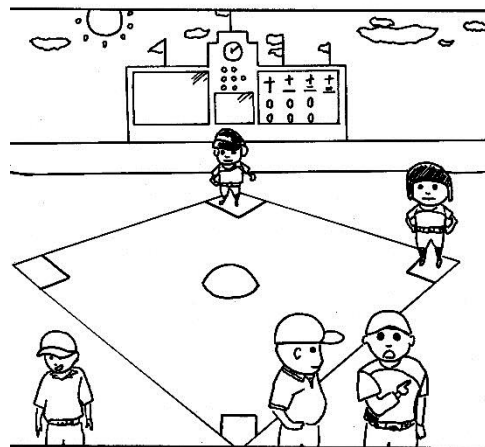
1. 守備側選手も含め、攻撃側選手の配置が正確であること。
2. 1・2 塁上に走者を配置する際の安全を十分に確保しておくこと。
3. 試合の流れを止めることがないこと。

具体的に図示すると、下図の場所で球審は打者、一塁塁審は一塁走者、二塁塁審は二塁走者を確認します。



なお、確認の際には、以下の点にも留意が必要です。

- ・タイブレーク制度による 1・2 塁に配置する走者には、**投手も含まれます**。(臨時代走者【高校野球特別規則 11】の取扱いと異なります)
- ・守備時の怪我の治療により、直ちにタイブレーク制度の走者に配置できないことも考えられます。その場合は臨時代走者【高校野球特別規則 11】を適用することになり、**投手は除かれる**こととなります。



イラスト協力: 兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科
高井 杏珠 さん (2年)(上)
松下 大地 さん (2年)(下)